

# 民主

PRESS MINSHU

2008年4月(3)

号外

定価200円(消費税込み)  
年間購読料3000円(送料含む)

民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町1-11-1

電話 03-3595-9988(代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

神奈川県

第5区総支部版

総支部代表 田中慶秋



## ゆるせない年金の天引き

政府、自民党は「ガソリンが値下げされれば混乱をきたす」といって国民を脅かしてきた。はたして混乱が生じただろうか。混乱どころか、むしろガソリンが安くなって喜んで国民は多い。それよりも混乱をきたしているのは4月から始まったお年寄り狙い撃ちの「後期高齢者医療制度」だ。

### 役人が考えだした血も涙もない医療制度



党首討論を行う小沢代表。「役人がポストを占めると既得権になる。官僚支配の構造を直さないといけない。」

75歳以上の全員が被保険者となる新しい医療制度。この制度は2年前、厚労省が「高齢者にふさわしい制度」だと、小泉政権下に私たち野党の大反対を押し切って導入を決めたもの。収入のない扶養家族となったお年寄り一人ひとりの年金から、保険料を容赦なく天引きしようとするものだ。宙に浮いた年金が未解決なのに、取るもの(保険料)だけは先に取り。これでは順序が逆ではないか。

県内でも、スタート時点から制度に対する問合せが殺到し大混乱だ。天引きされることも、新しい保険証がどんなものなのかも、制度事態が説明不足なのだ。決まった法律

は問答無用で従えと、国民が何だかわからないうちに制度を浸透させてしまおうとするのが官僚の常とう手段。それを知りつつ文句も言わず、一緒になって国民無視、生活軽視の政治をやっているのが自民党なのだ。

### 参議院の与野党逆転で官僚支配政治から脱却

これまでは国民に知られることなく継続されてきた官僚支配の政治。役人の既得権となっている道路特定財源、税率の高い暫定税率がいい例だ。ところが参議院の与野党逆転でそうはいかなくなった。「百年安心」の年金問題が明るみにでたのも、参議院で野党が過半数をしめ国政調査権を持つに至ったのも、2年前に強行採決された「後期高齢者医療制度」の問題でも、「こんな法律はおかしい」と声を大にすることができるようになったのも、国民の選択によって参議院で多数をいただいたからだ。また、日銀総裁の同意人事問題でも、なぜ私たちが総裁人事に同意できないのか。今までなら、政府がいうままに否応なく決まっていた。今は官僚が支配する「天下り人事」を黙って容認するわけにはいかない。

政府、自民党とも日本の政治にどんな事態が生じているのか認識がなさ過ぎる。国民は官僚支配の政治に危機感を抱き、日本を変えなければと思っている。それが昨年の参院選の結果となって表われているのだ。

# 日銀人事は「天下り」の象徴

日銀総裁問題で、民主党は政府の「財金一体」の人事案に不同意を示した。問題の本質は、旧大蔵省を頂点とした官僚支配政治を打破することにある。

## 官僚支配の政治を打破しなければ、真の民主主義政治は根付かない

政府、自民党は5年前から3月19日に総裁の任期切れがくるのはわかっていたはず。それなのに総裁同意人事案を提出してきたのは期限切れ間際になってからだ。総理に人事権があるとはいえ、同意人事は各政党にも委ねられている。民主党は「金融業界、研究機関、学会などから相応しい人を」と要望してきた。ところが悪しき慣例通り、財務省が日銀を自らの天下り体系の一つとして位置づけてきた長い歴史をそのままに、財務省とのたすき掛け人事、「財金一体」の人事を3度も提案してきたのだ。これでは改革を逆行させようとする官僚の思惑通りになってしまう。



追及を続ける田中前議員

お互いの独立性を持たせるために「財政と金融」を切り離したはず。「財金分離」は絶対にゆずれない。まして、どのような理由があろうとも、天下り禁止は国民が求めていることだ。

これまでは衆参で多数を自民党与党が占めていたために、どんなに野党が声を上げてもすべて潰されてしまった。参議院で多数を得た今、「天下り禁止」の原則を貫くことができる絶好の機会なのだ。議会制民主主義の第1歩として、特に官僚政治との決別を実現するために「天下りを認めない」という方針を民主党は貫いていかなければならない。わずかでも妥協をゆるせば改革を後戻りさせてしまうからだ。

## 責任を取らず「天下り」を繰り返す、年金を大混乱させた社会保険庁長官

年金記録の不備問題を起こした歴代社会保険庁長官(14人)の退職金は平均6200万円に上る。最高は8000万円。民間から就任した1人を除いて、13人はすべ

て厚労省のキャリア官僚だ。殆どが関連団体に天下っている。天下り先でも民間離れした高給を得ている。責任問題では僅かな自主返納にしか応じていない。

**民主党は約束します。**  
**若者にも、お年寄りにも**  
**「安心の年金制度」を!**



民主党代表  
小沢一郎

年金、医療、介護の充実

前・衆議院議員  
田中けいしゅう